



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月10日

上場会社名 株式会社トーセ 上場取引所 東
 コード番号 4728 URL <https://www.tose.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報グループ長 (氏名) 鈴木 喜代 TEL 075-342-2525
 定時株主総会開催予定日 2024年11月28日 配当支払開始予定日 2024年11月29日
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,615	△20.2	△522	—	△501	—	△260	—
2023年8月期	5,783	2.1	488	4.0	531	5.0	499	61.0

(注) 包括利益 2024年8月期 △291百万円(—%) 2023年8月期 575百万円(64.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	△34.42	—	△4.2	△6.8	△11.3
2023年8月期	65.85	—	7.9	7.1	8.4

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 一百万円 2023年8月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	7,227	6,079	83.6	797.44
2023年8月期	7,625	6,560	85.6	861.47

(参考) 自己資本 2024年8月期 6,044百万円 2023年8月期 6,529百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	△1,286	196	△189	1,278
2023年8月期	1,177	△70	△189	2,554

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00	189	38.0	3.0
2024年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00	189	—	3.0
2025年8月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00	—	118.4	—

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	21.3	280	—	260	—	160	—	21.11

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期	7,763,040株	2023年8月期	7,763,040株
② 期末自己株式数	2024年8月期	183,420株	2023年8月期	183,280株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	7,579,695株	2023年8月期	7,579,894株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,261	△21.4	△550	—	△607	—	△273	—
2023年8月期	5,423	1.6	433	6.6	436	8.7	432	83.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期	△36.11	—
2023年8月期	57.06	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	6,671	5,605	84.0	739.59
2023年8月期	7,191	6,157	85.6	812.35

(参考) 自己資本 2024年8月期 5,605百万円 2023年8月期 6,157百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年10月17日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におきましては、2024年7月にドル円為替レートが歴史的な円安水準となるなど輸入コストが上昇基調で推移したことなどを背景に物価の上昇が続いた一方、インバウンドの増加も継続し、デフレ脱却の動きが緩やかに進みました。米国の利上げや中国経済の減速が日本経済に大きく影響していることから先行きの不確実性は高く、今後も十分な注意が必要です。

当社グループが属するゲーム業界では、市場規模は国内・世界ともに高水準のまま推移しました。一方で、ユーザー層の広がりやトレンドの変遷の加速、ゲーム開発期間の長期化などを背景に、ゲーム開発側の企画や見通しがユーザーの期待を的確に捉え、タイトルのヒットにつなげるのが難しくなっていると考えられます。そのためマーケティングの重要性が増しており、国内の複数の企業では、開発中または開発したタイトルの評価替えがされるなど、ゲーム開発の方針や考え方の転換が見られました。

そのような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、デジタルエンタテインメント事業で不採算となった案件が2件あったことや複数の案件が中止や失注となった影響で、売上高は46億15百万円（前連結会計年度比20.2%減）となりました。

利益面につきましては、上述した影響でコストの増加や売上減少が重なったことから、営業損失は5億22百万円（前連結会計年度は営業利益4億88百万円）、経常損失は5億1百万円（前連結会計年度は経常利益5億31百万円）と、会社設立以来初の赤字決算となりました。2025年8月期から速やかな業績回復を果たすべく、経営資源の集中を図るため、フィリピンにある子会社と札幌開発センターの閉鎖を決定いたしました。それらの閉鎖に関連する費用として、約1億72百万円の特別損失を計上し、親会社株主に帰属する当期純損失は2億60百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益4億99百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①デジタルエンタテインメント事業

ゲームソフト関連については、当連結会計年度の前半には、開発終盤に顧客とともにゲームの品質向上に取り組んでいた案件で、開発要件の大幅な増加によって作業が急増し、開発期間が延びる事案が発生しました。この作業増加に係る対価は、今後レベニューシェア（ソフトの販売に応じて得られる成功報酬）により一部を回収していく見込みに留まっているのに対し、開発コストが大幅に増えたことで、大きな損失となりました。また第3四半期には、顧客におけるゲーム開発の方針や考え方の転換を受け、複数の開発案件が中止や失注となり、見込んでいた売上の逸失、開発人員の稼働低下が発生しました。中止となった案件の一部では、顧客からの引き合いに基づき企画作業や試作等を進めておりましたが、そのような案件では作業した分の売上が計上できず開発コストのみが発生してしまうこととなりました。一方で、進行しているその他複数の大型開発案件は、いずれも中間評価が良好であり、順調に推移しました。これらの結果、売上高は27億70百万円（前連結会計年度比22.6%減）となりました。

モバイルコンテンツ関連については、継続して運営中の大型案件にて大規模な処理負荷対策を実施するなど、レベニューシェアを含む運営業務全体としての売上は、前年を上回って推移しました。一方で、スマートフォンゲームの開発途中にサーバーの大規模な増強が必要となり、それに付随して一部作業に手戻りが発生しました。当連結会計年度末時点で顧客への引き渡しはほぼ完了しましたが、当初想定より大幅に開発スケジュールが伸びたことで他の案件への着手ができず、開発売上が減少しました。これらの結果、売上高は14億92百万円（前連結会計年度比18.9%減）となりました。また同案件のコストが大きく膨らみ、損失となりました。

以上の結果、当事業の売上高は42億62百万円（前連結会計年度比21.3%減）、営業損失5億94百万円（前連結会計年度は営業利益4億23百万円）となりました。

②その他事業

家庭用カラオケ楽曲配信事業は、当連結会計年度においても安定して高水準な収益を維持しました。SI事業では、当連結会計年度の前半に、想定していた案件の失注や着手遅延が発生しましたが、第3四半期に新規の開発案件を獲得して後半に売上を伸ばしたことで、前連結会計年度比ほぼ横ばいで推移しました。この結果、当事業の売上高は3億52百万円（前連結会計年度比2.9%減）、営業利益71百万円（前連結会計年度比10.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して3億98百万円減少し、72億27百万円となりました。資産の部におきましては、売掛金及び契約資産などが増加したものの、現金及び預金、有価証券などが減少したことにより、流動資産が7億7百万円減少しました。また、投資有価証券などが減少したものの、TOSE PHILIPPINES, INC.の清算決議に伴う繰延税金資産の計上、投資不動産などの増加により、固定資産が3億8百万円増加しました。

負債につきましては、未払法人税等や賞与引当金などが減少した一方で、買掛金や関係会社整理損失引当金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して82百万円増加し、11億47百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴う減少や、親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことなどにより、前連結会計年度末と比較して4億80百万円減少し、60億79百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して12億76百万円減少し、12億78百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、12億86百万円（前連結会計年度は11億77百万円の資金獲得）となりました。これは主に、売上債権の増加額6億39百万円、税金等調整前当期純損失5億35百万円などの資金の減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、1億96百万円（前連結会計年度は70百万円の資金使用）となりました。これは主に、投資不動産の取得による支出2億44百万円、投資有価証券の取得による支出1億50百万円などの資金の減少があった一方で、投資有価証券の償還による収入3億円、投資有価証券の売却による収入1億38百万円、保険積立金の解約による収入1億16百万円などの資金の増加があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億89百万円（前連結会計年度は1億89百万円の資金使用）となりました。これは、配当金の支払額1億89百万円などがあったことによるものです。

（4）今後の見通し

2025年8月期におきましては、任天堂社より次世代機の発表が予定されており、発売時期が明らかになることで市場の期待も一層高まると考えられます。次世代機向けのソフト開発需要が見込まれることに加え、普及が進んだプレイステーション5向けや、市場規模が年々成長を続けているPC向けを中心に、ゲームソフト開発需要はまた高まりを見せると予想しております。一方で国内のスマートフォンゲーム市場は、成熟し競争の激しい状況のまま推移しており、新規コンテンツの開発立ち上げや市場投入に踏み切ることが引き続き慎重に検討されるものと考えております。グローバルゲーム市場は、コロナ禍の巣ごもり需要は収束したものの、コロナ前よりも高い水準で推移しており、今後も成長が予想されます。

AIへの期待や関心はここ1年で大きく膨らみ、製品やサービスへの組み込みや、業務改善等において、検証・トライアルや研究が各所で進んでいることが見られました。数年後にはわたしたちの生活に密着した欠かせない技術となる可能性があります。

このような事業環境のもと、当社グループでは、中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて事業活動を推進しております。足元の2025年8月期には黒字転換し業績の回復を図ってまいります。

デジタルエンタテインメント事業においては、2024年8月期に複数の開発案件が中止や失注となりましたが、家庭用ゲーム機向けを中心に開発に関するご相談やご依頼は引き続き寄せられており、新規受注に向けての活動を精力的に推進しております。また、2023年8月期以前から取り組んできた開発案件や2024年8月期に立ち上がった案件がそれぞれ複数件進行中です。なかには2025年8月期の前半にリリースが予定されているものや、海外顧客からの海外市場をターゲットとした案件もあり、これらの開発を着実に進めてまいります。2024年8月期に複数の顧客においてゲーム開発の方針や考え方が転換されたことで、今後も顧客による開発中の案件の見直しや、承認プロセス長期化によって開発進行の乱れが生じる可能性が考えられますが、そのような事態による損失を防止する対策を進めてまいります。具体例としては、プロジェクト管理ルールの強化と徹底には2024年8月期より取り組んできております。また2024年9月にはプロジェクトマネジメント支援室を立ち上げ、開発を進めているプロジェクトチームとは別の視点から進捗と品質をモニタリングすることで、適正な開発進行と、トラブルになりそうな場合の早期対策を徹底してまいります。

その他事業では、SI事業において従前より教育関連に注力してきたなか、2024年8月期の末頃より新たな教育関連のシステム開発案件を進行させております。他にも複数の案件に取り組む予定であり、非ゲーム分野での事業の拡大を進めてまいります。

中期的に取り組むべき課題としては、開発技術の継続的な成長・発展、開発プロセスの効率化・省力化、取引価格の引き上げ、新規事業へのアプローチ、開発人材の増強、グローバル案件の取り込み推進の6つに引き続き焦点を当てております。上述の事業活動のなかで、AIを含む高度な開発技術の探求を続けるとともに、これまで取り組んできた開発工程の標準化の推進に加えて、プロジェクトマネジメント支援室による各プロジェクトの進捗や品質、リソース配分等のモニタリング機能を働かせることで、さらなる付加価値の向上に努めてまいります。

以上より、2025年8月期の連結業績予想につきましては、売上高56億円（前連結会計年度比21.3%増）、営業利益2億80百万円（前連結会計年度は営業損失5億22百万円）、経常利益2億60百万円（前連結会計年度は経常損失5億1百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益1億60百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失2億60百万円）を予定しております。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業体質の強化と新たなビジネス分野への積極的な事業展開に備えるために内部留保資金の充実を図りつつ、株主の皆様に対し安定的な配当を維持していくことを基本方針としております。また、事業展開の節目、あるいは業績を鑑みながら記念配当、株式分割などを実施し、株主の皆様への利益還元を行ってまいります。

2024年8月期の期末配当金としては、2024年7月4日付の決算発表時に公表いたしましたとおり、1株当たり12円50銭とする予定です。

なお、中間配当として1株当たり12円50銭の普通配当を支払っておりますので、年間配当は25円になる予定です。

2025年8月期の配当金は中間、期末ともに12円50銭の年間25円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の外国人株主比率及び国内他社のIFRS採用動向を踏まえ、検討を進めていく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,917,048	1,556,188
売掛金及び契約資産	1,153,917	1,793,033
有価証券	198,709	50,194
仕掛品	22,552	52,286
その他	96,142	229,148
貸倒引当金	△1,320	△1,380
流動資産合計	4,387,050	3,679,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,330,238	1,338,179
減価償却累計額	△858,692	△892,995
建物及び構築物 (純額)	471,545	445,184
工具、器具及び備品	267,573	246,415
減価償却累計額	△232,638	△213,160
工具、器具及び備品 (純額)	34,934	33,254
土地	709,565	709,565
その他	74,226	75,847
減価償却累計額	△51,145	△53,268
その他 (純額)	23,081	22,578
有形固定資産合計	1,239,126	1,210,583
無形固定資産		
ソフトウェア	82,068	79,412
ソフトウェア仮勘定	7,784	2,040
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	91,988	83,588
投資その他の資産		
投資有価証券	747,720	609,911
退職給付に係る資産	24,628	34,033
繰延税金資産	17,347	356,346
投資不動産	734,694	978,703
減価償却累計額	△137,165	△149,026
投資不動産 (純額)	597,528	829,677
保険積立金	446,213	349,317
その他	74,393	74,426
投資その他の資産合計	1,907,833	2,253,712
固定資産合計	3,238,948	3,547,884
資産合計	7,625,999	7,227,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,541	183,063
未払法人税等	127,898	16,280
前受金	1,501	14,818
賞与引当金	150,006	87,226
受注損失引当金	—	5,890
その他	369,114	356,575
流動負債合計	708,062	663,855
固定負債		
役員退職慰労引当金	320,494	333,488
関係会社整理損失引当金	—	119,388
その他	36,798	30,834
固定負債合計	357,293	483,710
負債合計	1,065,356	1,147,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,282	1,313,282
利益剰余金	4,260,600	3,810,183
自己株式	△173,368	△173,466
株主資本合計	6,367,514	5,916,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,498	56,208
為替換算調整勘定	36,083	84,695
退職給付に係る調整累計額	△18,384	△13,589
その他の包括利益累計額合計	162,197	127,314
非支配株主持分	30,931	35,474
純資産合計	6,560,643	6,079,788
負債純資産合計	7,625,999	7,227,355

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	5,783,020	4,615,576
売上原価	4,225,486	4,097,905
売上総利益	1,557,534	517,671
販売費及び一般管理費	1,069,268	1,040,011
営業利益又は営業損失 (△)	488,265	△522,339
営業外収益		
受取利息	9,959	9,751
受取配当金	7,126	10,204
投資有価証券償還益	—	1,291
投資有価証券評価益	—	194
不動産賃貸料	44,075	32,908
為替差益	17,564	1,085
雑収入	8,828	4,836
営業外収益合計	87,554	60,270
営業外費用		
支払利息	27	20
投資有価証券償還損	1,563	—
投資有価証券評価損	1,291	—
不動産賃貸費用	39,156	38,777
雑損失	2,658	998
営業外費用合計	44,696	39,796
経常利益又は経常損失 (△)	531,123	△501,865
特別利益		
固定資産売却益	2,173	3,173
新株予約権戻入益	31,598	—
投資有価証券売却益	147,902	116,078
保険解約返戻金	—	18,950
特別利益合計	181,674	138,202
特別損失		
固定資産除却損	2,742	—
減損損失	—	4,553
事業所閉鎖損失	—	16,144
関係会社整理損失引当金繰入額	—	151,355
特別損失合計	2,742	172,054
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	710,056	△535,717
法人税、住民税及び事業税	215,767	34,616
法人税等調整額	△9,240	△313,952
法人税等合計	206,526	△279,336
当期純利益又は当期純損失 (△)	503,529	△256,380
非支配株主に帰属する当期純利益	4,428	4,543
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	499,100	△260,924

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	503,529	△256,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,574	△88,289
為替換算調整勘定	△14,821	48,611
退職給付に係る調整額	△712	4,794
その他の包括利益合計	72,040	△34,883
包括利益	575,570	△291,264
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	571,141	△295,807
非支配株主に係る包括利益	4,428	4,543

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	967,000	1,313,282	3,950,997	△173,233	6,058,047
当期変動額					
剰余金の配当			△189,497		△189,497
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			499,100		499,100
自己株式の取得				△135	△135
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	309,602	△135	309,467
当期末残高	967,000	1,313,282	4,260,600	△173,368	6,367,514

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	56,923	50,905	△17,672	90,156	31,598	26,502	6,206,305
当期変動額							
剰余金の配当							△189,497
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							499,100
自己株式の取得							△135
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	87,574	△14,821	△712	72,040	△31,598	4,428	44,870
当期変動額合計	87,574	△14,821	△712	72,040	△31,598	4,428	354,338
当期末残高	144,498	36,083	△18,384	162,197	—	30,931	6,560,643

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	967,000	1,313,282	4,260,600	△173,368	6,367,514
当期変動額					
剰余金の配当			△189,492		△189,492
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△260,924		△260,924
自己株式の取得				△97	△97
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△450,417	△97	△450,514
当期末残高	967,000	1,313,282	3,810,183	△173,466	5,916,999

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	144,498	36,083	△18,384	162,197	—	30,931	6,560,643
当期変動額							
剰余金の配当							△189,492
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△260,924
自己株式の取得							△97
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△88,289	48,611	4,794	△34,883		4,543	△30,340
当期変動額合計	△88,289	48,611	4,794	△34,883	—	4,543	△480,854
当期末残高	56,208	84,695	△13,589	127,314	—	35,474	6,079,788

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	710,056	△535,717
減価償却費	97,695	101,831
減損損失	—	4,553
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	70	60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,230	△62,779
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	5,890
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,131	12,993
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	1,084	△2,496
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	119,388
受取利息及び受取配当金	△17,085	△19,955
支払利息	27	20
為替差損益 (△は益)	△10,684	9,662
固定資産売却損益 (△は益)	△2,173	△3,173
固定資産除却損	2,742	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△147,902	△116,078
投資有価証券償還損益 (△は益)	1,563	△1,291
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,291	△194
新株予約権戻入益	△31,598	—
売上債権の増減額 (△は増加)	727,056	△639,115
棚卸資産の増減額 (△は増加)	56,058	△29,734
前受金の増減額 (△は減少)	△2,954	13,317
仕入債務の増減額 (△は減少)	△110,924	123,522
その他	81,639	△104,890
小計	1,410,322	△1,124,186
利息及び配当金の受取額	17,601	20,038
利息の支払額	△27	△20
法人税等の還付額	358	325
法人税等の支払額	△250,787	△182,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,177,467	△1,286,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	83,349	84,751
有形固定資産の取得による支出	△67,405	△44,987
有形固定資産の売却による収入	4,066	14,807
無形固定資産の取得による支出	△36,604	△18,458
投資有価証券の取得による支出	△500,000	△150,000
投資有価証券の売却による収入	147,902	138,438
投資有価証券の償還による収入	300,000	300,000
投資不動産の取得による支出	△2,034	△244,009
保険積立金の解約による収入	—	116,343
その他	△0	△474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,726	196,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△135	△97
配当金の支払額	△189,635	△189,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,771	△189,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,774	3,733
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	911,195	△1,276,108
現金及び現金同等物の期首残高	1,643,491	2,554,687
現金及び現金同等物の期末残高	2,554,687	1,278,578

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

当社は2024年8月27日開催の取締役会において、連結子会社であるTOSE PHILIPPINES, INC. を解散することを決議しております。なお、同社は現在清算手続き中です。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。当社グループでは、「デジタルエンタテインメント事業」及び「その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルエンタテインメント事業」は、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。「その他事業」は、SI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによるゲーム以外のコンテンツ事業、新規事業の創出に取り組んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一です。

事業のセグメントの利益は営業利益をベースとした数値です。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
ゲームソフト関連	3,578,175	—	3,578,175	—	3,578,175
モバイルコンテンツ関連	1,841,771	—	1,841,771	—	1,841,771
その他	—	363,073	363,073	—	363,073
顧客との契約から生じる収益	5,419,947	363,073	5,783,020	—	5,783,020
外部顧客への売上高	5,419,947	363,073	5,783,020	—	5,783,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,350	16,059	26,410	△26,410	—
計	5,430,298	379,132	5,809,430	△26,410	5,783,020
セグメント利益	423,300	64,965	488,265	—	488,265
セグメント資産	2,046,510	448,552	2,495,062	5,130,937	7,625,999
その他の項目(注) 3					
減価償却費	82,049	3,572	85,622	12,073	97,695
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	35,529	1,656	37,185	70,746	107,932

(注) 1 調整額は以下のとおりです。

- (1) 売上高の△26,410千円は、セグメント間取引の消去の額です。
 - (2) セグメント資産の5,130,937千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、当社での余資運用資金（現金及び預金並びに有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）、繰延税金資産、投資不動産及び管理部門に係る資産です。
 - (3) 減価償却費の12,073千円は、投資不動産に係る減価償却費です。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の70,746千円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものです。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用及びその償却額が含まれておりません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
ゲームソフト関連	2,770,065	—	2,770,065	—	2,770,065
モバイルコンテンツ関連	1,492,807	—	1,492,807	—	1,492,807
その他	—	352,703	352,703	—	352,703
顧客との契約から生じる収益	4,262,873	352,703	4,615,576	—	4,615,576
外部顧客への売上高	4,262,873	352,703	4,615,576	—	4,615,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,718	15,925	41,644	△41,644	—
計	4,288,591	368,629	4,657,221	△41,644	4,615,576
セグメント利益又は損失(△)	△594,140	71,800	△522,339	—	△522,339
セグメント資産	2,945,627	495,666	3,441,293	3,786,061	7,227,355
その他の項目(注) 3					
減価償却費	87,043	2,891	89,934	11,897	101,831
減損損失	4,553	—	4,553	—	4,553
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	13,858	1,211	15,069	51,203	66,272

(注) 1 調整額は以下のとおりです。

- (1) 売上高の△41,644千円は、セグメント間取引の消去の額です。
 - (2) セグメント資産の3,786,061千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産、投資不動産及び管理部門に係る資産です。
 - (3) 減価償却費の11,897千円は、投資不動産に係る減価償却費です。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の51,203千円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものです。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。
 - 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用及びその償却額が含まれておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	861円47銭	797円44銭
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	65円85銭	△34円42銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	499,100	△260,924
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	499,100	△260,924
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,579	7,579

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度末 (2023年8月31日)	当連結会計年度末 (2024年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,560,643	6,079,788
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	30,931	35,474
(うち新株予約権)	—	—
(うち非支配株主持分)	(30,931)	(35,474)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,529,712	6,044,313
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	7,579	7,579

(重要な後発事象)

該当事項はありません。